



様式第4号（第7条関係）

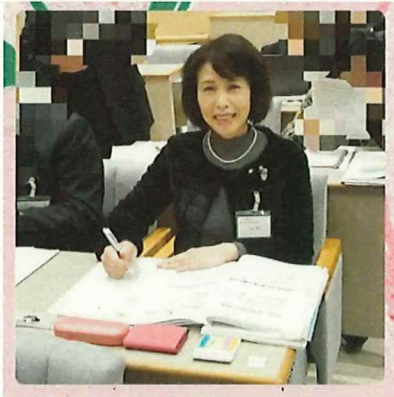
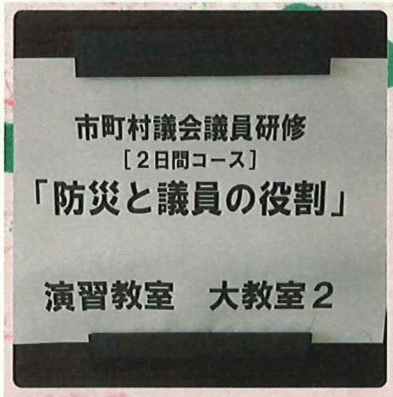
令和2年3月11日

東かがわ市議会議員
橋 本 守 様

東かがわ市議会議員
(会派・個人・その他)

氏名 久米 潤子 

行政視察等報告書

1	日 時	1月9日から1月10日	
2	参加者	久米 潤子	
3	研修目的等	内 容	研修場所
		防災と議員の役割	全国市町村国際文化研修所
4	研修・調査内容	平時・災害発生時・復旧・復興期というそれぞれの段階における、議員の果たすべき役割についての研修を受講した。  詳細については別紙1のとおり	
5	研修成果	別紙2のとおり (感想・今後の取り組み等)	
6	費 用	8, 180円	

※領収書（交通費・宿泊費の明細がわかるもの）、研修資料を添付してください。

4 研修・調査内容

別紙1

「防災と議員の役割」の研修を受講

近年、地震や集中豪雨、台風災害などによる災害が各地で発生している。各地域においては、いざというときのために、普段からの備えが求められている。平時・災害発生時・復旧・復興期というそれぞれの段階における、議会や議員にできることを考え、議員の果たすべき役割について学んだ。

【第1日目】

- ① **講義** 「地域防災力を向上させるために」 首都大学東京 名誉教授 中村 一樹 氏
- ② **講義** 「平時の防災と議員の役割」
跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 教授 鍵屋 一 氏
- ③ **演習** 「平時の防災と議員の役割」
跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 教授 鍵屋 一 氏
防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏

【第2日目】

- ④ **事例紹介** 「災害弱者の対応 ～熊本地震における経験より～」
熊本市議会議員 村上 博 氏
- ⑤ **講義・演習** 「災害時・復旧・復興期の議員の役割」
跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 教授 鍵屋 一 氏
防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏
- ⑥ **講義** 「ふりかえりまとめ」
跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 教授 鍵屋 一 氏
防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏



5 研修成果 (感想・今後の取り組み等)

別紙 2

① 「地域防災力を向上させるために」

近年は、水温が上がると、温度があがって、夏は大雨、冬は大雪となる。

自然災害が続発する自然環境時代。高齢者比率が急増する高齢社会では、高齢者が犠牲者の8割以上を占める時代。水害も震災も、直接死も災害関連死も、高齢者である。地域の高齢化、地縁の喪失から、コミュニティも崩壊。外国人が激増する国際化という背景がある。

災害に強い地域・まち・市民・企業の「防災」とは、次の3点に取り組むことである。

① 被害を出さない・・・予防力(事前防災)⇒ 貴重品を持って2階で寝る。

家具の固定。ブロック塀は3段まで。

② 被害を広げない・・・対応力(減災対応) ⇒ BCP

③ 被害から復興する・・・復興力(復旧・復興) ⇒ 事前に考えておく。

災害ボランティアセンターを準備しておく。

$$\begin{array}{c} \boxed{\text{予防力}} + \boxed{\text{対応力}} + \boxed{\text{復興力}} \\ \hline \boxed{\text{被害想定}} \end{array} = \boxed{\text{防災力}}$$

上記の防災力を高めるために、今考えることが大切である。

災害は、起こってしまうと考えることができない。

② 地方議員に最も期待する「防災の取組 10 カ条」とは

① (前)地方議員は、公人である前に住民として「防災達人」たれ。

「防災達人テスト(木造住宅編)(マンション編)」やってみよう！

② (前)災害時の活動は、平時以下でも、平時以上でもない。

③ (前)学校防災の強化にもっと目を向け、地域を支える「人材育成」

④ (前)地域防災計画、災害活動マニュアル、BCP を十分理解する。

⑤ (前後)事前防災も発災対応も、住民目線・女性目線を忘れない。

⑥ (後)発災7日間は、地域住民として、地域で活動する。

⑦ (前)議員としての活動は、議会として「会派連携」が基本。

⑧ (後)被災後の対応は、「公平・平等・公正」が原則。

⑨ (後)職員も被災しているので、行政を支援し、住民を支援する。

⑩ (後)復旧・復興計画策定からは、「復興後の地域の維持管理」を念頭に、
執行部(行政)に対する「チェック機能」を。

③ 行政に不可欠な、危機管理に必要な能力について～二つの「そうぞう力」と一つ「決断力」～

●未災の事態に対するリスク管理には、二つの「そうぞう力」

①想像力・・・顕在化するであろう「リスク」を想像する能力 IMAGINATION

②創造力・・・想像されるリスクに対して、最適な予防策・対応策を創造(工夫)する能力
CREATION

●発生した危機事態(クライシス)に対し、的確かつ適時に判断し、実効するには、一つの
「けつだん力」

③決断力・・・空振りを恐れない能力

「空振りは許されるが、見逃しは許されない クライシス管理」

④ 鍵屋 一 氏は、体操しよう！と声をかけ、参加者に手遊び体操をしてくれた。

体操しながら、「庁舎の中、大丈夫？小・中学校で、とめてないものあるんじゃない？議長室の議長の写真大丈夫？」と言いながら、体操はだんだん難しくなっていく。

参加者がついていけず、会場から笑い声が聞こえると、「やることはわかっててもね。慣れてないことはできないんだよ。だからね、もし、災害が起こっても、60点できたら、100点だと思って。やったことないんだから。防災の研修だね。今日も講師から同じことと言われたと思ったら、それはね、とても大事なことだと思って。」と、秋田県のあたたかみのあるイントネーションで、講義を始めた。

⑤ 福祉と災害について

福祉・・・ケアプランに災害時対応を盛り込むことが必要である。

学校・・・学校の先生に防災に取り組んでもらえれば、地域力があがる。

災害前によくよく考える。事前復興を考えることが、まちづくりにつながる。

⑥ 本当の敵は、「正常化バイアス」

人は、なぜ宝くじを買って、防災に備えないのか？「正常化バイアス」という癖を治さないといけない。それには、防災教育、防災訓練が必要である。

台風⇒停電、断水といった、自分自身にスイッチを入れること⇒危機管理を上手にする。

東日本大震災の「岩手県大槌町の災害対応」と、「宮城県東松島市議会議員の行動」の演習を行った。大槌町は、町長をはじめ、136名中33名の職員が亡くなった。急遽、指揮官となった総務部長の言葉に「防災計画は136人全員が活着ている前提でしか作ってなかったのだから。体験やノウハウを持った人がたちがなくなったことも大きかった。特に技術者が10名亡くなっている。例えば、水道管がどこにあるかもわからなかった。」というインタビューに胸がつまった。

東松島市議会は、議会の最終日に地震が発生。直後に閉会宣言し、議員は帰宅。22名中、1名が死亡、1名が流され凍傷で入院。議会としては、議員の安否確認後、何もできなかった。それぞれ地元で、避難所運営や、情報収集の活動をした。4月5日市役所にやっと20名が集まった。議長は毎日災害対策本部につめていた。執行部を信頼し、議長に情報を伝えた。災害時に、議員がやってはいけないことは、「スタンドプレー、リーダーを超えてはだめ。分をわきまえること」だと元航空自衛官の議員は語っていた。

東かがわ市役所も、東かがわ市議会においても、全員が無事であるとは限らない。誰が指揮官になっても、市民を守る事前の準備と、訓練が必要である。早急に議場における防災訓練を行いたい。またBCPを月に一度議会で確認しあうべきと考える。社会教育主事任用資格を持ち合わせているので、岩手県大槌町の災害対応と、宮城県東松島市議会議員の行動のワークショップを、市議会で開催できる機会を頂ければ幸いである。

東かがわ市議会が想像力や、創造力をもつために、そして災害時に決断力を発揮するためには、何度も協議し、何度も訓練をすることが重要と考える。また、私たちが、本気で、継続的に防災訓練に取り組むことが、東かがわ市民の「正常化バイアス」をとく鍵となると考える。市民、そして職員全員が無事であることは、市議会の願いであると同時に、使命であると考え。議長をリーダーに率先して訓練をしてまいりたい。